

# 2022年度下期 eラーニング講座のご案内 日本倉庫協会

この講座は、日本倉庫協会がNX総合研究所等の協力を得て開設するeラーニング講座です。eラーニングの受講により、基礎的な知識を手軽に、かつ、効率的に身につけることができます。社内の研修の一環として、社員のスキルアップなどとしてご活用ください。

## 特徴

- 割安な受講料（日倉協会員割引）
- 自宅で、職場で、自分のペースで学習可能

## 受講期間(復習期間を含む)

2022年10月3日（月）から2022年12月31日（土）まで。  
※コースにより実際の学習時間は異なります。早く修了した場合は、残り期間を復習期間としてご利用頂けます。

## 受講料

以下の2コースを除く各コース：1人につき13,000円/コース 協会特別価格（税込み）  
コンプライアンスコース：1人につき3,000円 協会特別価格（税込み）  
プロジェクトマネジメント入門コース：1人につき15,000円 協会特別価格（税込み）

## 申込方法

日本倉庫協会のホームページ(<http://www.nissokyo.or.jp>) からダウンロードした「所定の申込書」によりメールで申込む。（申込受付は、2022年8月1日（月）から開始します）

## 申込書送付先

日本倉庫協会 調査部 [e-manabi@nissokyo.or.jp](mailto:e-manabi@nissokyo.or.jp)

## 募集締切

2022年9月1日（木）

※キャンセルのご連絡は日本倉庫協会窓口へ2022年9月7日（水）17時までにお申し出ください。それ以降のキャンセルは申し受けいたしかねますので、ご了承ください。

## 問合せ先

03-3643-1221 日本倉庫協会 調査部 田代

## コース概要

コース名		概要	補足事項
ロジスティクス			
ロジスティクス管理	初級コース	<p>ロジスティクスの管理（企画・実施・統制）に関する専門知識を学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジスティクス管理の概要</li> <li>・在庫、システム・コスト管理の概要</li> <li>・物流情報システムの概要</li> </ul>	ロジスティクス各コースについては、教材として紙のテキストが受講者へ送付されます。
	上級コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジスティクス管理の体系</li> <li>・在庫、システム・コスト管理</li> <li>・物流情報システム</li> </ul>	
ロジスティクス・オペレーション	初級コース	<p>ロジスティクスのオペレーション（荷役・保管、流通加工・包装、輸配送管理）に関する専門知識を学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送包装、荷役、保管の概要</li> <li>・輸送の概要</li> <li>・約款と物流保険の概要、関連法規、JIS</li> </ul>	ロジスティクス各コース受講の希望者を対象に東京・大阪でスクーリングを開催します。 ※スクーリングの受講料は無料、交通費は受講者負担となります。
	上級コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送包装とユニットロード</li> <li>・物流センターシステム</li> <li>・輸配送システム</li> </ul>	
物流センターの機能と管理コース		物流センターの基本機能、設計・運営、コスト管理、改善手法、情報システムを学習します。	
物流センターの作業改善コース		物流センターの作業改善の基本や一連の流れを学びたい方にお勧めです。	
貿易実務基礎コース		貿易（輸出入）は決まったルールの上で行われています。具体的には、売買契約、通関・船積み、貨物保険、決済、検疫・貨物引取り上のルールです。これらの中で、必ず理解しておきたい基本的な事項を学習します。	
国際海上輸送と航空輸送の基礎知識コース		国際海上輸送・航空輸送それぞれの基本的な特徴と要点を学習します。	
コンプライアンスコース		身近なコンプライアンスに関する基本的な知識を分かりやすい動画と副読本により身につけることができます。セクハラ、飲酒運転、SNS、業務上横領、個人情報漏洩、公私混同、情報漏洩、廃棄物、パワハラ、下請法	教材として副読本（受講者がPDFデータをダウンロード）が提供されます。
プロジェクトマネジメント入門コース		<p>プロジェクトマネジメントの手法をeランで短時間に習得できる講座です。プロジェクトの立上げ／計画／実施・監視・コントロール／終結の一連の流れを解説し、確認テストで知識の定着を図ります。</p> <p>章：はじめに、プロジェクトの立上げ、プロジェクトの計画、プロジェクトの実行、監視・コントロール、プロジェクトの終結</p>	本コースは、（株）NX総合研究所とアイシンク（株）が開発したコンテンツを、アイシンク（株）が管理するシステムで実施します。